

ビワイチを、守山市をサイクリングの“聖地”に！

～ 自転車を活用した地方創生から河川のかかわり方を考える ～

- 琵琶湖河川事務所 -

国土交通省出身のサイクリスト・宮本守山市長とともに 地方創生の柱として「自転車を軸とした観光振興」を進める山形総合政策部長を講師に迎え、『取り組みの紹介や広報戦略・工夫と行政・企業関係者との関わり、さらには、今後の展開などについて』講義して頂き、地域活性化に向けた河川のかかわり方などについて意見交換を行いました。

- 主 催 : 琵琶湖河川事務所
- 日 時 : 平成29年12月18日(月) 14:00～16:00
- 場 所 : ウォーターステーション琵琶 2F 交流スペース
- 講 義 : 地方創生で取り組む守山市の「自転車を軸とした観光振興」とまちづくり
- 講 師 : 守山市役所 総合政策部長 山形 英幸氏
- 受講者 : 守山市2名、水資源機構琵琶湖総合管理事務所4名、淀川河川事務所6名、琵琶湖河川事務所20名 (合計32名)



○ 講義



＜ 守山市自転車推進施策のポイント ＞

- ・ トップの強いリーダーシップ
- ・ 地域の「強み」と「機会」を活かす
- ・ 観光振興と市民活動のバランス
- ・ 行政のハード対策と官民連携のソフト対策
- ・ 経済活性化へ繋げる

山形 英幸氏

○ 活発な意見交換



琵琶湖河川事務所職員

淀川河川事務所職員

水資源機構職員

【感想・意見】

- ・ ビワイチの観光客を誘致する外向きの自転車施策だけでなく、地元企業と協力や市民を対象とした内向きの施策も行っており、地域の活性化にどうつなげるかよく考えられていた。
- ・ 今後の河川管理は企業との連携も必要であり、双方に良い効果を得られるような仕組みやアイデアが必要だ。
- ・ 守山市は広報戦略を立て、メディアに取り上げてもらえるよう、うまく広報しており、習うべきところが多かった。

○ 淀川から琵琶湖まで自転車で！



シティサイクルも走る

宇治川ラインを快走

淀川サイクリングロードとビワイチコースの将来的な連携を模索するため、淀川河川事務所職員は枚方市から、琵琶湖河川事務所職員は天ヶ瀬ダムから会場の大津市まで自転車で河川沿いを試走し、講義に参加しました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課
077-546-0844(代表)

